

## JAバンク栃木における地域密着型金融の取組状況（2020年度）

JAバンク栃木（栃木県下JAと農林中央金庫宇都宮支店）では、農業と地域社会に貢献するため、JAバンク栃木中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

この度、2020年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

### 1 農山漁村等地域の活性化のための支援

JAバンク栃木は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

#### （1）農業融資商品の適切な提供・開発

JAバンク栃木は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

2021年3月末時点のJAバンク栃木の農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は37,976百万円（うち農業経営向け貸付金19,892百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は9,417百万円を取り扱っています。

(注1) 農業関係資金残高とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク栃木が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

#### 【営農類型別農業関係資金残高】（単位：百万円）

	2021年3月末現在
農業	25,283
穀作	6,395
野菜・園芸	5,245
果樹・樹園農業	1,269
工芸作物	71
養豚・肉牛・酪農	6,844
養鶏・鶏卵	69
養蚕	0
その他農業（注1）	5,391
農業関連団体等（注2）	12,693
合計（注3）	37,976

(注1) 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

(注2) 「農業関連団体等」には、JAや全農とその子会社等が含まれています。

(注3) 小数点以下を四捨五入しております。

**【資金種別別農業関係資金残高】** (単位：百万円)

種 類	2021年3月末現在
プロパー資金 (注1)	30,723
農業制度資金 (注2)	7,254
農業近代化資金	6,168
その他制度資金 (注3)	1,086
合 計	37,976

- (注1) プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- (注2) 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク栃木が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
- (注3) その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。
- (注4) 小数点以下を四捨五入しております。

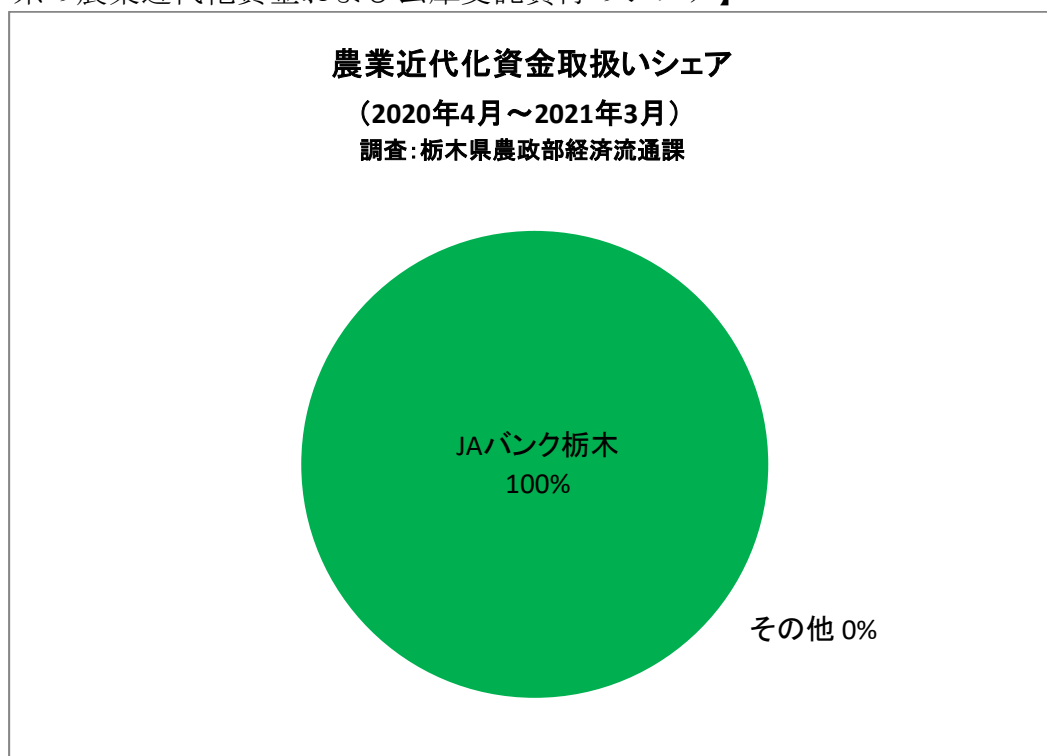
**【農業資金の受託貸付金残高】** (単位：百万円)

種 類	2021年3月末現在
日本政策金融公庫資金	9,417

(注) JAバンク栃木では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク栃木は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

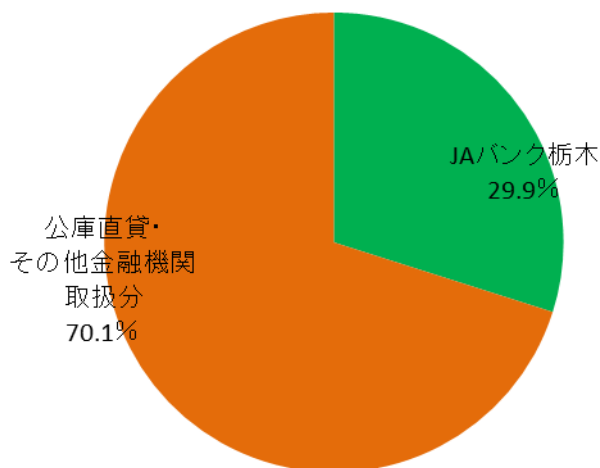
なお、農業近代化資金について、栃木県における2020年度取扱い分は全てJAバンク栃木によるものでした(参考：前年度97.3%)。

**【栃木県の農業近代化資金および公庫受託貸付のシェア】**


### 公庫農業資金取扱いシェア

(2020年4月～2021年3月)

出所: 日本政策公庫「業務統計年報」  
農林中央金庫「農業融資残高一覧表」



#### (2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク栃木では、地域の農業者との関係を強化・深耕するための体制整備に取り組んでいます。

JAの農業融資担当者は、営農相談・経済担当者と連携して農業者からお聞きした情報を把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内10JAには51人の「担い手金融リーダー」が設置され、これらの活動をサポートしています。

農林中央金庫宇都宮支店では、JAの活動サポートや指導機能、農業法人等への融資相談機能を有し、これらの機能拡充、強化に向けて取り組んでおります。

#### (3) JA内事業間連携の強化

JAバンク栃木では、農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業担当者との合同会議や研修会の開催に加え、農業者への同行訪問等を行うことにより、JA内事業間連携を強化しています。

## 2 担い手への経営支援

JAバンク栃木は、担い手をサポートするため、経営サイクルに応じて、次の取り組みを行っています。

### (1) 新規就農者の支援

JAバンク栃木では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、日本政策金融公庫資金「青年等就農資金」を取り扱っています。また、2016年より青年等就農資金を補完する資金として設立した「JA新規就農応援資金」については77百万円まで残高が伸長しており、新規就農者のニーズに適した資金対応を行っています。

加えて、日本政策金融公庫宇都宮支店、栃木県と連携し新規就農者向けセミナーを開催し、各種情報提供に加え、新規就農者間や関係機関とのネットワークづくりを行っています。

### 【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】

(単位：百万円)

	2021年3月末 残高
青年等就農資金	872
就農支援資金	126
JA新規就農応援資金	77
合計	1,075

### 【2020年度新規就農者応援セミナーの開催】

開 催 日	2020年11月30日
主 催 者	JAバンク栃木、株式会社日本政策金融公庫宇都宮支店
参 加 人 数	87名
内 容	<p>栃木県（各農業振興事務所）との協力のもと、県内で新規就農を資金面・制度面で支える機関・団体が集結し、県内各地から新規就農者ならびに県農大生を含む新規就農者を志す研修生ら計30人程度が参加しセミナーを開催いたしました。</p> <p>セミナーでは各関係機関より融資商品や補助事業等の情報提供を行った後、はが野農業協同組合代表理事組合長の国府田厚志氏より「就農者支援と地域農業振興を目指して～求められるJAの役割～」と題しご講演をいただきました。ご自身の体験談や農業経営における心構え等を紹介していただきました。</p> <p>セミナー終了後は個別相談会も開催し、各関係機関が参加者の様々な相談に応じました。</p>



## (2) 経営不振農家の経営改善支援

JAバンク栃木では、負債整理資金の対応にあたり、関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【2020年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先数)

	期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再生 計画を策定し た先数 a	Aのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数 b	Aのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数 c	再生計画策定 率 = a / A	ランクアップ 率 = b / A	
		正常先①	12	7		12	58.3%
要 注 意 先	うちその他要注意先②	8	5	0	8	62.5%	0.0%
	うち要管理先③	1	1	0	1	100.0%	0.0%
	破綻懸念先④	15	14	2	13	93.3%	13.3%
	実質破綻先⑤	3	0	0	3	0.0%	0.0%
	破綻先⑥	0	0	0	0	0.0%	0.0%
	小計(②～⑥の計)	27	20	2	25	74.1%	7.4%
	合計	39	27	2	37	69.2%	5.1%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は2021年2月末時点でのものです。

## (3) 災害被害を受けられた方への支援

JAバンク栃木では、自然災害の被害を受けた方を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

### 3 経営の将来性を見極める融資手法を活用した担い手に適した資金提供

JAバンク栃木では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

#### (1) 負債整理資金による経営支援

JAバンク栃木では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

#### 【2020年度 負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	2020年度 実行件数	2020年度 実行金額	2021年3月末 残高
農業負担軽減支援資金（注1）	0	0	0
畜産特別資金（注2）	0	0	67
その他（注3）	1	1	1
合計	1	1	68

(注1) 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の軽減を図るための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注2) 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注3) その他資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の軽減を図るためのJAプロパー資金の総計です。

#### (2) 動産担保を活用した農業融資の活用

JAバンク栃木では、栃木県で盛んな酪農業・畜産業を営む農業者に必要な運転資金を提供するため、「ABL対応型資金」を2017年度に創設しております。

ABLとは酪農業・畜産業における商品在庫（牛や豚）を担保とすることで、不動産担保や個人保証に依存しない融資が可能となる手法です

#### 【2020年度 動産担保の農業融資実績】

(単位：件、百万円)

種類	件数	残高	内容
農産物	0	0	
畜産物	3	7	ABL対応型資金
機械設備	9	108	アグリパワー資金（太陽光発電）
その他	0	0	
合計	12	115	

### 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク栃木は、地域の子もたちに農業への理解を促進するため、農業に関する補助教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験の受入れ等に取り組んでいます。

「農業とわたしたちの暮らし」は、JAを通じて、県内約350の小学校へ約20,000冊配布され、授業等において活用されています。

以上